別記様式第１号（第８条関係）

令和 6 年 3 月 29 日

朝日町議会議長

殿

氏 名 青木裕子

令和５年度政務活動費に係る収支報告について

朝日町議会政務活動費の交付に関する条例第８条第１項（第２項）に基づき、別紙のとおり、令和５年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和５年度政務活動費収支報告書

氏　　名　青木裕子

1　収　入

政務活動費　110,000　円

2　支　出

（単位：円）

項　目	支出額	備　考
調査研究費①	7,500円	参加負担金
調査研究費②	100,789円	旅費
資料購入費	2,200円	図書購入費
合　計	110,489円	

注）　備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

調査研究費①　１１月２７日　福島県大熊町立義務教育学校

学び舎ゆめの森視察

参加者負担金　　７，５００円

領　収　書

青 木 裕 子 様

金 7,500 円

ただし、11 月 27 日福島県大熊町立義務教育学校学び舎ゆめの森視察参加負担金として、上記金額を領収しました。

令和 5 年 12 月 6 日

朝日町教育委員会　教育文化課長　　伊藤　淳

調査研究費②　愛知・岐阜　義務政務学校等視察※詳細は報告書参照

１月１５日（月）

出発 10:00　---山形空港 11:10　FDA384 便✈12:10→13:25 名古屋小牧空港　昼食　マイクロバス愛知バス---（20 分）---**愛知県庁** 15:00―17:15 頃　---　宿泊・名古屋東急ホテル着 17:30

１月１６日（火）

出発 9:00　---白川郷 11:45 頃着　昼食 12:00 白川郷古民家活用視察　出発 13:45

岐阜県白川村　白川郷学園視察　14:00～16:00 頃---　宿泊・ホテルウッドタカヤマ 17:00 頃到着

１月１７日（水）

出発 7:00　---**愛知県　飛島村役場・飛島村学園視察**　10:00～12:00　名古屋小牧空港 12:30 着　昼食 FDA385 便✈15:10→16:15 山形空港着　　朝日町 17:20

交通費等　　航空券代＋マイクロバス代等→ **6, 8489** 円(東武トップツアーズ手配)※見積書参照

AB　No. 501377

収入印紙 200円

TOBU TOP TOURS

お客様コード 040050　2024 年 2 月 16 日 DATE

領　収　証　RECEIPT

RECEIVED FROM 朝日町議会 青木裕子 様

領収金額 THE SUM OF ¥64,849-

但し FOR ご旅行代金として

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

発行者印 大場

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	✓
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップツアーズ株式会社
山形支店
山形市香澄町2-2-31カーニープレイス山形7F
☎050-9001-8583

AB　No. 501161

収入印紙

TOBU TOP TOURS

お客様コード 040050　2023 年 12 月 21 日 DATE

領　収　証　RECEIPT

RECEIVED FROM 朝日町議会 青木裕子 様

領収金額 THE SUM OF ¥1,040-

但し FOR 保険代として

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

発行者印 大場

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	✓
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップツアーズ株式会社
山形支店
山形市香澄町2-2-31カーニープレイス山形7F
☎050-9001-8583

宿泊費　名古屋 **15,900 円**(東武トップツアーズ手配)

高山 **13,500 円**

領収証　№ 00322　2024年1月16日

朝日町議会議員 青木裕子 様

金額	¥13500

現金 ✓ クレジット

収入印紙

但し 宿泊代として　上記金額正に領収致しました

税率8%	税抜	円
	消費税	円
税率10%	税抜	12,272 円
	消費税	1,228 円

岐阜県高山市上二之町80番2
HOTEL WOOD 高山
支配人 長江明久
TEL (0577) 62-8888
登録番号 T4180001016164

扱者印 大森

収入印紙

領収証 RECEIPT

RECEIVED FROM 朝日町議会青木裕子 様

領収金額 THE SUM OF ¥15,900-

但し FOR 宿泊代として

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

発行者印 大場

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	✓
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップツアーズ株式会社
山形支店
山形市香澄町2-2-31カーニープレイス山形7F
☎050-9001-8583

謝礼　朝日町産りんご　**5，500円**

領収証　青木裕子　様　No.

★ ¥5,500-

内訳
現金
小切手 /
手形 /
消費税額等(%)

但 りんご代金

6年1月20日　上記正に領収いたしました

収入印紙

〒990-1552 山形県西村山郡朝日町常盤へ83
阿部農園
阿部為吉
電話 0237-67-2613
登録番号：T7810201241404

コクヨ ウケ-98

経費合計　**100，789円**

amazon.co.jp

図書購入費

注文番号250-9028523-1120667の領収書

このページを印刷してご利用ください。

発行日： 2024年4月23日
注文日： 2023年12月10日
Amazon.co.jp 注文番号： 250-9028523-1120667
ご請求額： ¥2,200

_____様

2023年12月10日に発送済み

注文商品	価格
1 点 *個別最適な学びと協働的な学び*, 奈須 正裕 販売：アマゾンジャパン合同会社 コンディション：新品	¥2,200

お届け先住所：
青木裕子
990-1442
山形県 西村山郡朝日町宮宿
2306-14

配送方法：
お急ぎ便

支払い情報

支払い方法：
[redacted]

請求先住所：
青木裕子
990-1442
山形県 西村山郡朝日町宮宿
2306-14

商品の小計：	¥2,200
配送料・手数料：	¥0
注文合計：	¥2,200
ご請求額：	**¥2,200**

クレジットカードへの請求
MasterCard（下4けたが[redacted]：2023年12月10日: ¥2,200

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

利用規約 | プライバシー規約 ©1996-2020, Amazon.com, Inc. and its affiliates

トップへ戻る

日本語 日本 ヘルプ・サポート

利用規約 | プライバシー規約 | パーソナライズド広告規約 | 各種規約 | 特定商取引法に基づく表示
© 1996-2022, Amazon.com, Inc. or its affiliates

奈須正裕

9784491047263
1923037020003
ISBN978-4-491-04726-3
C3037 ¥2000E
定価：本体2,000円
（税込2,200円）税10%
東洋館出版社
教育一般・教育課程

自立性と多様性は、理論的には分けて考えることが可能ですし、そうすることで議論を整理することもできます。しかし、実践の具体においては、当然のことながら両者は密接に関わってきますし、それで構いません。子どもは学ぼうとしていると言ってきましたが、それは具体的な子どもがそうしているわけで、そこにはその子ならではの、実に個性的な学ぼうとしている姿が立ち現れてくるのです。教師はそういった現れをとらえ、その意味をその子に即して考察し、まずは寄り添い、ときに必要な支援を行っていけばよいのです。

――「その子ならではの学ぼうとしている姿」より

個別最適な学びと協働的な学び

東洋館出版社

個別最適な学びと協働的な学び

「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」で提起された、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実は、一校のカリキュラムの中でどのように実現可能なのか。「子どもがする授業」の具現化を目指す山形県天童市立天童中部小学校を舞台に考える。

有能な学び手としての
子どもの姿から突きつけられたのは、
「教師は何のためにいるのか」
という問いでした。

奈須正裕

令和５年度
先進地視察調査政務活動 報告書

朝日町議会青木裕子

１．目　的

朝日町では現在、令和１０年４月に義務教育学校を設立すべく、準備を進めている。学校は、町の未来を作る人材育成の礎であり、町の将来を左右する非常に大きなターニングポイントだと捉えている。

設立にあたっては、そのメリットとデメリットを把握し、議員としても今後予想される問題に備え見聞を広めておく必要があるのではないだろうか。そのためには山形県内での取り組みだけではなく、県外において優れた事例があるのであれば、現地にて設立の背景を調査し、施設の視察を行う必要がある。まずは東北地方にて教育委員会主催の福島県大熊町における視察調査随行。

さらに、西方面における取り組みを調べ、愛知県、岐阜県の取り組みを調査することとした。小中一貫校の義務教育学校となった設立の経緯や運営状況のほか、愛知県ではラーケーション、飛島学園ではグッドデザイン賞等を受賞された施設の見学を調査し、白川村立白川郷学園では豪雪地および人口減少での中での取り組みに着目し、今後の準備計画及び政策に活かしていく。

２．期　日

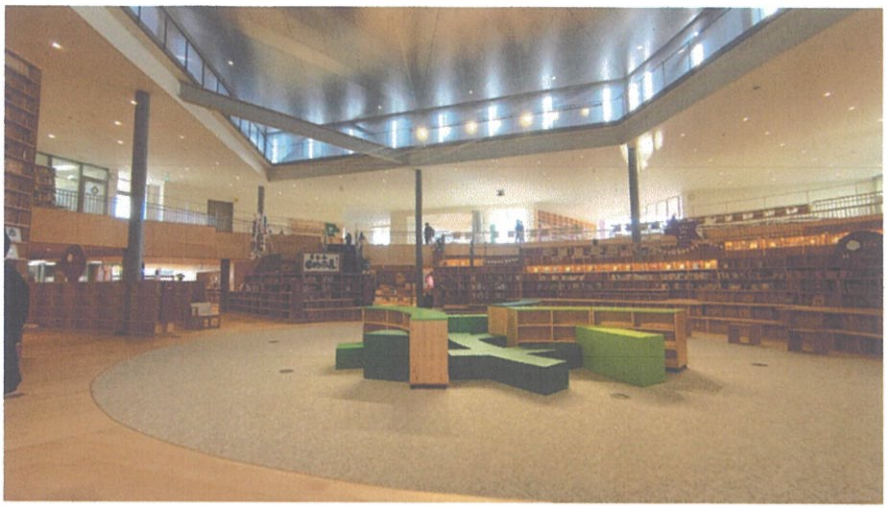
福島　　令和５年１１月２７日
愛知・岐阜　令和６年１月１５日(月)～１７日(水)

３．視察内容及び所感

（１）福島県大熊町　大熊町立学び舎　ゆめの森

- 復興の拠点　シームレスな学び -

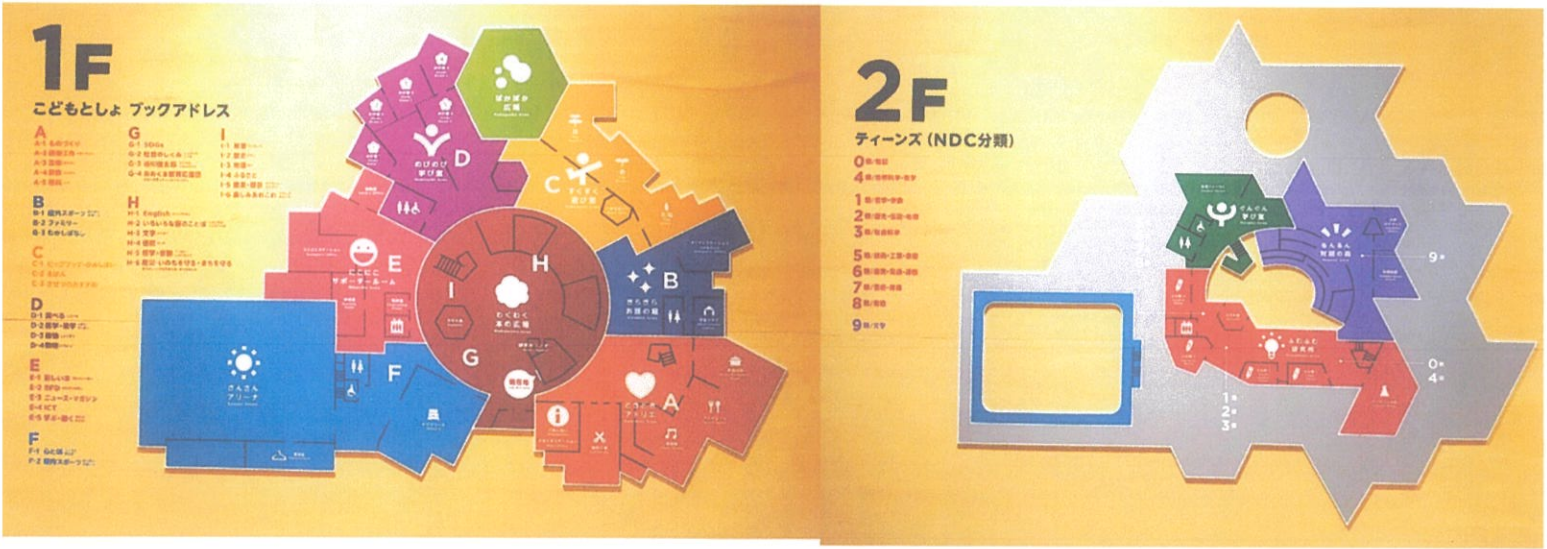
2023 年開校。0 歳から 15 歳まで一貫して学べ、周囲をフェンスで囲うことなく町とつながり、教室をつくらず学び舎全体が学びのスペースとなるなど、すべての取り組みにおいて壁を設けずシームレスであることが特徴。建設場所は町内でいち早く避難指示が解除されたエリアであり、復興の拠点として開発が進められた。文部科学省からの職員が立ち上げから関わり、新しい教育の場として国としても力を入れて建設されたことが伺える。現校長は文部科学省の官僚。全額国庫補助金にて建設。



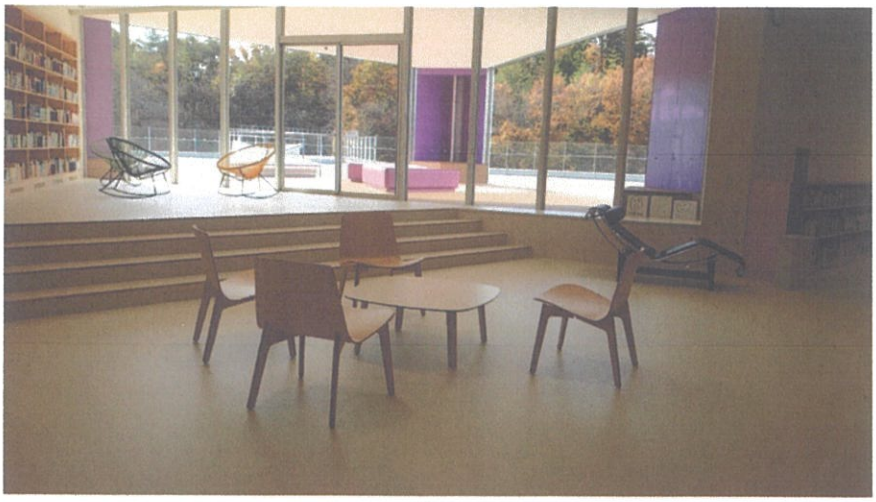
正面玄関から見たホール。壁がなく、この学び舎を象徴するデザイン。

反対側から撮影。
図書スペースに学びと遊びの設備が混在している。

校舎レイアウト図



中央のホールを中心とし、多様なエリアが放射状に展開されている。

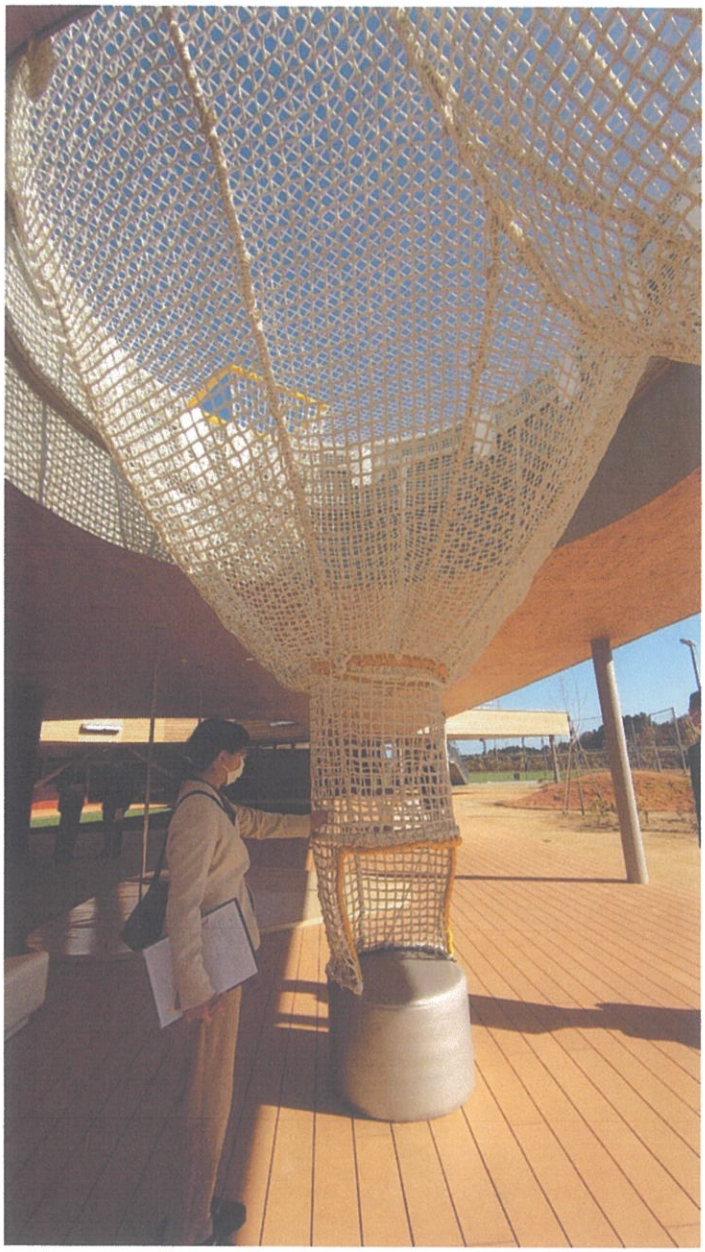


様々なデザインの椅子、世界的に有名なデザインのものから特注で作製されたものまで。
子どもから大人まで感性が刺激される工夫が随所に見られる。

専科理科室手前の図書スペース。周辺教室の学びに関連する本を読むことができる。

青空の遠くに事故が起きた原発が見える。

園児・児童・生徒数合計３７人に対して広大な敷地。



屋内外に混在する遊具

避難所としての機能を完備床暖房

所感

衝撃的な校舎だったが、建設にあたり、この土地が東日本大震災と原子力発電という人類初の複合災害に直面し、翻弄された背景が大きく影響していた。

教育ビジョンにおいては、原発事故はこれまでの教育がこのような事態を招いたと捉え、反面教師としてきちんと向き合っていた。

日本の未来像が託された教育コンセプトがしっかり練られ、それに呼応する形で教育目標が設けられ、具現がされた建物だった。

朝日町においては、大熊町と時代背景が異なるので同じものを作るのではなく。自分の町の時代背景からどのような町の未来像を描くのか、朝日町独自のものを導き出し、それをもとに、教育目標や校舎並びに候補地を決めて欲しいと思った。

（2）愛知県庁舎　教育委員会義務教育課ヒアリング／副県知事訪問

―ラーケーション　家庭教育の充実化を図る―

愛知県教育委員会では主に
・小中一貫教育・義務教育学校について
・愛知県のへき地教育について
・愛知県教育委員会の取り組みについて
ご説明いただく。

小中一貫教育では、県内４校で実施しており、最終日に伺う飛島学園もそのうちの一つ。
県が捉えている**メリット**は、
　中一ギャップの解消／児童生徒の学力の向上／独自の教科の設定が可能
　中学校の学習内容を小学校で学ぶなど教育課程の弾力的な編成が可能
一方の**デメリット**は
　児童生徒間の人間関係の固定化
　教職員の負担感多忙感の増加　→　軌道に乗るまで人事面で配慮を
　多額の費用が必要（施設一体型）　→ 計画的な費用の捻出を
　おらが学校の意識　→　統廃合する場合は地区への理解を得るために
　　丁寧な説明が必要

へき地教育においては、９市町村３３小学校１０中学校１義務教育学校にて実施。７市町村に補助金を支給し ICT 活用による他地域との交流やへき地間のネットワークづくりに取り組んでいる。

愛知県における代表的な取り組み「休み方改革」における「**ラーケーション**」事業が印象的であった。「休み方改革」は「働き方改革」ではなく、人生の中でそこで休むか、休日設定の柔軟化・有給休暇の取得推進・**家庭教育の充実化**を問題提起している。

ラーケーションとは・・・
ラーニングとバケーションの造語で、子どもの休みを契機に家族が一緒に休める、家族の休みに合わせて子どもも活動出来る仕組みである。土日祝日に休みが取理にくい観光業や飲食業に従事している保護者を意識したもので、家族の休みに合わせて、子どもが校外で体験や探究の学び・活動を実施できるよう、平日でも年３回まで公休とできる制度。

副知事室訪問

牧代議士と江原史朗県議案内で、古本副知事を訪問。
古本副知事はラーケーションの提案時に携わり、当時の苦労を伺う。社会全体の問題解決のための提案であり、教育現場の若い教員からは賛同を得られたが、校長などのベテラン層からは反対の意見が目立ったとのこと

研修対応のお礼と PR を兼ねて
朝日町産りんごを贈呈。

所感

ラーケーションの取り組みを始めて知ったが、その目的である家庭教育の充実は朝日町においても課題の一つだ。学校教育で問題となる学級崩壊やいじめの解決において、家庭教育の充実は不可避であり、子どもたちの健やかな成長に欠かせないことである。
働き方改革でとり立たされている問題とも表裏一体で、愛知県だけではなく、全国的に考えが広まり、当町においても実情に応じた支援策を考えていく必要性を感じた。

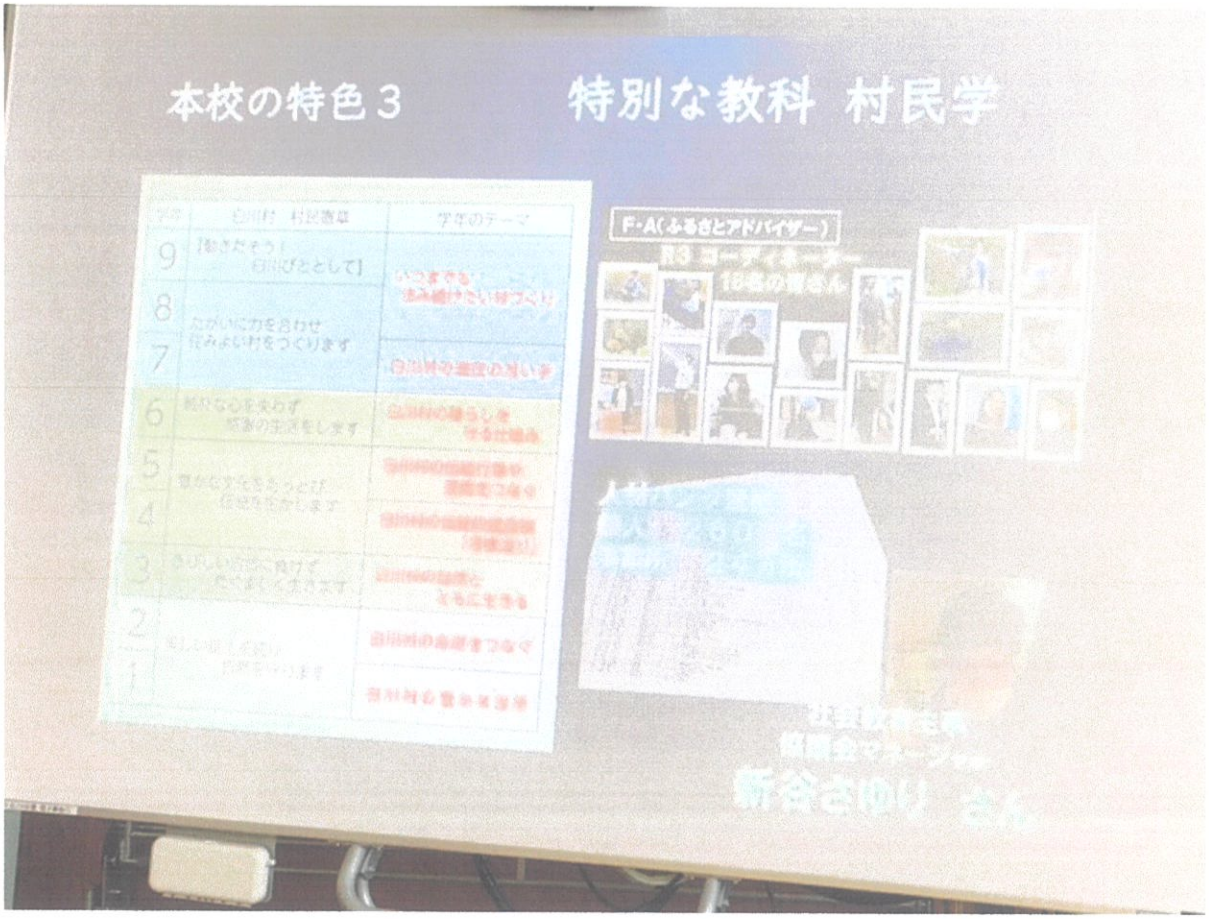
（３）岐阜県白川村立　白川郷学園

―１５歳の独り立ちに責任を持つ―

ユネスコの世界遺産に登録されている白川郷のある、岐阜県白川村（人口１４００人程度）に存在する小中施設一体型（平成２３年から）の義務教育学校。ここの教育理念は「１５才の独り立ちに責任を持つ」である。村内に高校が無く１６歳からは、殆どが村外へ出て進学なり就職していく。その旅立ちまでにいかに、心身を豊かな学びで満たしてあげられるのか、教育関係者と地域が一丸となって取り組んでいる。

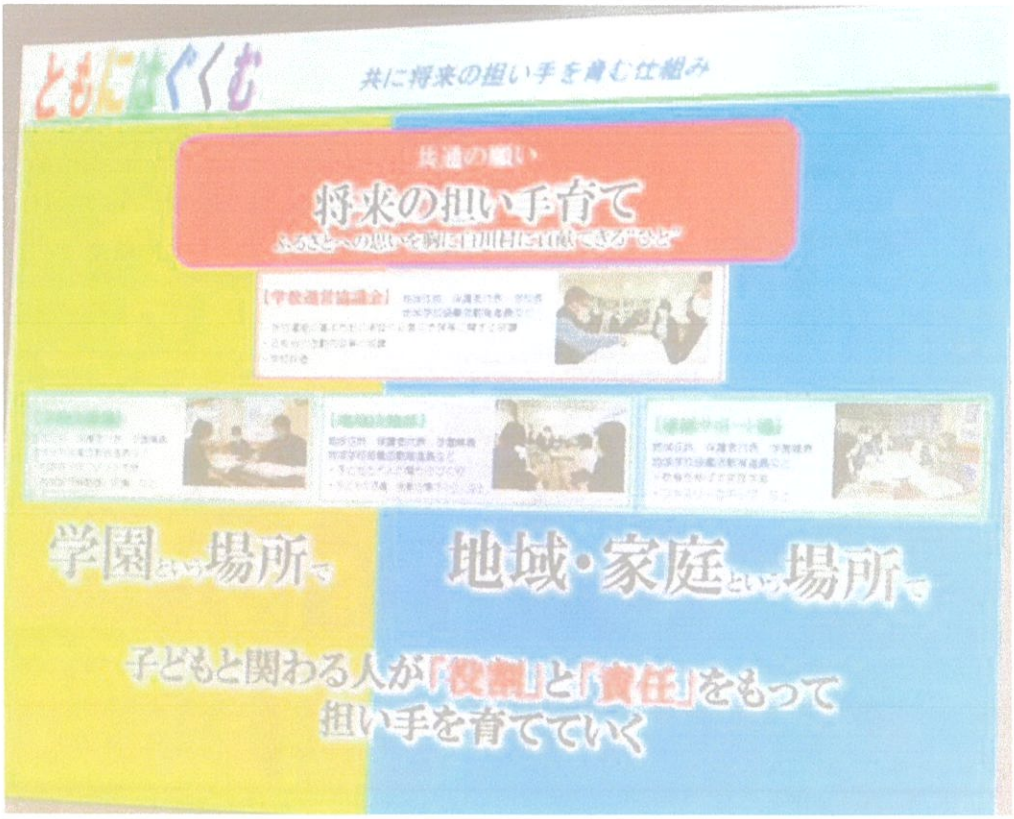
地域学習　村民学

世界遺産が存在する村だけあって、シビックプライドへの意識が高く、村の自然や伝統文化の継承に力を入れている。地域との連携として人材バンクを創設。この人材バンクは村内の知識習得だけではなく、広い視野から自分の生き方や進路を自分で決定することができる態度を育むことを目的とし、そのために様々人に出会い、多様な生き方に触れることを大切にしている。（高一クライシスへの対策にも繋がる）



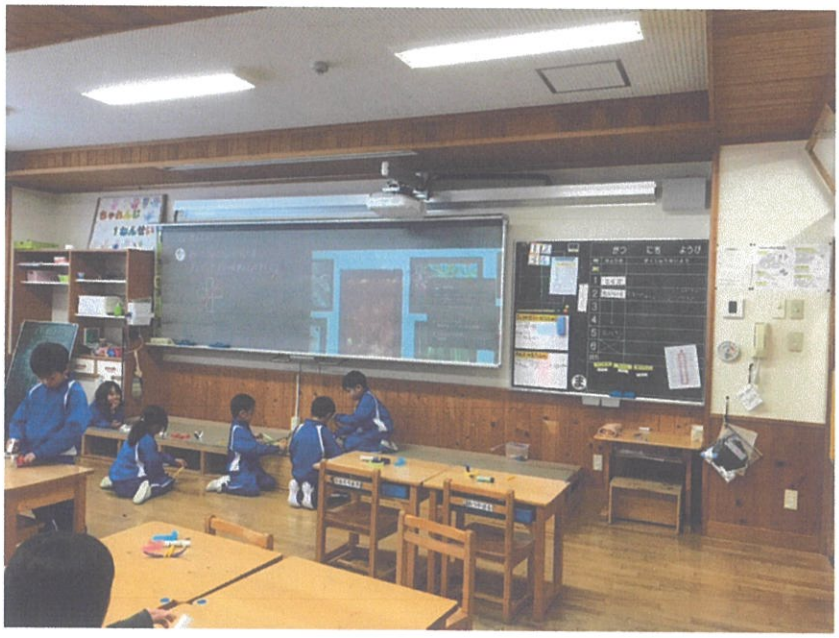
共に育む

村民学のコミュニティスクールにおける地域連携だけではなく、家庭教育へのサポートも実施。各部会に分かれてはいるが人材は掛け持ちも多い。

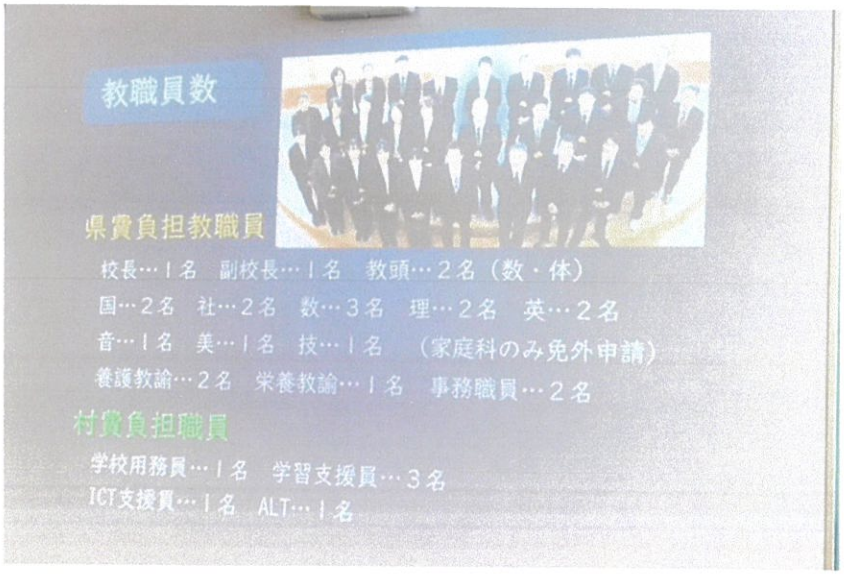


他地域との交流と豪雪地対策

長靴対応の靴箱が並ぶ玄関



ICT の活用
他地域の児童生徒とオンラインで繋がり、修学旅行の事前学習を手伝うなどの取り組みも行なっている。
修学旅行にて来訪予定の児童たちが、調査してみたいことを白川郷学園の児童たちに伝え、当日のプランを考える活動を実施。



教職員体制

所感

この土地の特徴と時代・文化の背景にちなんだ教育方法を探り、実施している。小中一体型施設になる前の、小学校の統廃合時に苦労されたとのこと。とにかく地域の方に理解を深めていただくべく、何回も話し合いの機会を設け、丁寧な説明を重ねていったとのこと。このことが地域連携事業の推進にも繋がる

学校教育を子どものいる世帯だけの課題とせず、地域全体で育んでいくための具体的な施策がとられていた。

特に、今回説明を担当してくださった新谷さゆり氏（設立当初から携わる）の熱意や実行力が素晴らしく、朝日町の準備委員会でもぜひお話を聞いてほしい。朝日町においても、名実ともに地域連携がさらに推進されることを望む。

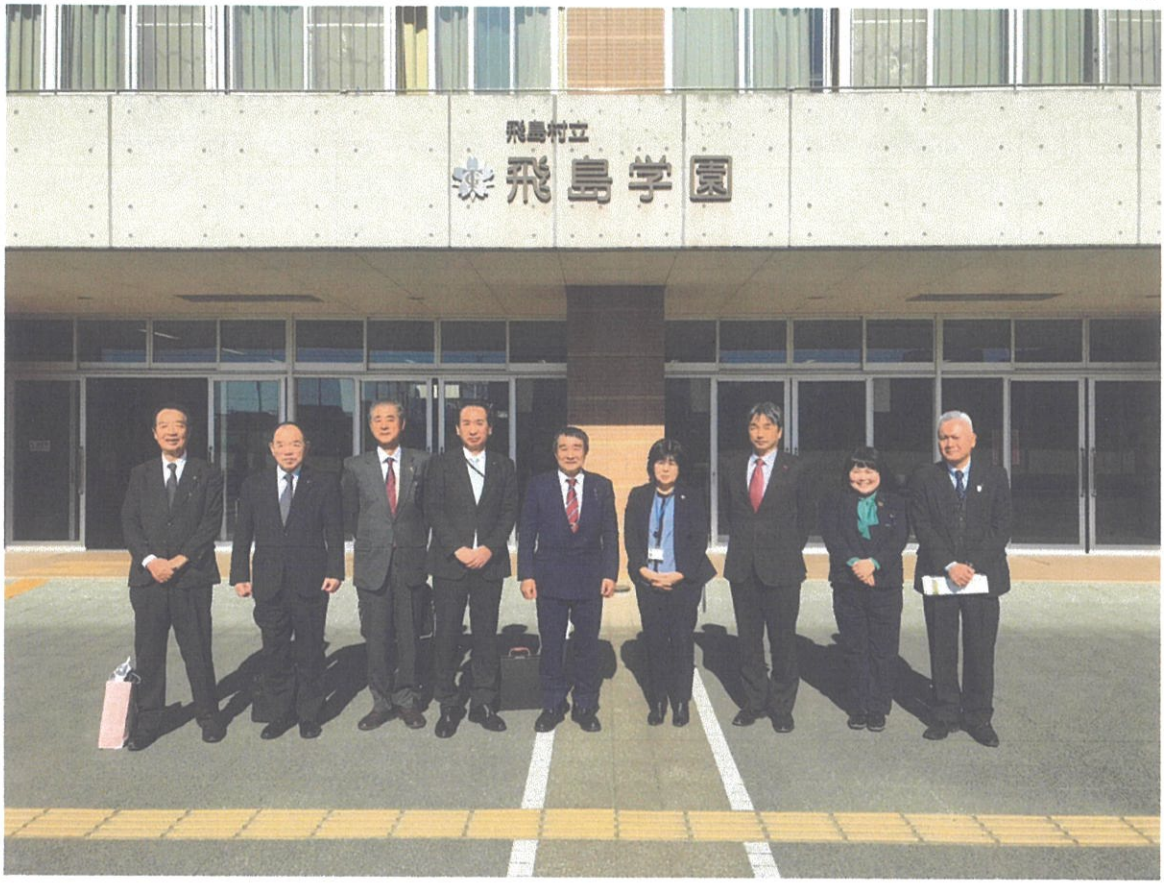
（３） 愛知県　飛島村立　飛島村学園

―日本一裕福な村が掲げる学校教育の未来像と防災―

飛島村は名古屋港西部の臨海工業地帯に属し、村の南部には最先端の施設や工場が並ぶ。そのおかげで恵まれた財政として日本一裕福な村として名高く、充実した教育環境を提供できている。

平静１４年度に東海地震に係る地震防災対策強化地域の指定を受け、１５年度に小中学校統廃合の是非を問う住民投票を実施。その結果を受けて検討委員会翌年小中一貫教育研究会・教育特区研究会を設置。平成１８年度に小中一貫教育の開始。平成２１年度に新校舎完成（GOOD DESIGN 賞受賞）、２２年度飛島学園開校。

令和２年度義務教育学校として開校した。



防災対策

東海地震に係る地震防災対策強化地域の指定を受けたことから、随所に防災。減災対策の仕掛けが見られた。

左画像は建物の最上階部塔からの視点。被災時に周囲の状況把握や、避難施設としての役割を担う。

教育長が手にしているジャケットは水害時のライフジャケット。児童生徒教員数分保有。
体育館内に設置

研修対応のお礼と PR を兼ねて、議会と教育委員会の皆様へ朝日町産りんごを贈呈

所感

自主財源による財政規模が大きく、大熊町のように全額国庫補助に頼らずとも、この規模の学校が建設できていることに驚いた（建設費３２億中国庫補助は約１割）。一方で通学対策が追いついておらず、１時間弱歩いて通っている児童生徒もいるとのこと。大きな施設を設立した後の支援策に課題が残る。

また、土地が広大にあって大きな施設を建てても、規模が大きくなればなるほどその後の管理維持費が嵩む。飛島村のように財源にゆとりがある場合ならいいが、朝日町の場合は施設建設後に維持していく次の世代のことをしっかりと考えていかなければならないと改めて思った。